日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2011. 08 15

No.11-034

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob1@gmail.com

安全で明るい JAL

整理解雇、大幅な労働条件の切り下げ、減便　・撤退　・・・　の一方で

「震災の直後でありながら、好況期であった前年同期並みの数字が出せた」（大西社長）

2011 年４～６月期連結決算　　　ニュースにみる日航

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

日航、４～6 月は黒字確保　稲盛会長「目標を上回る利益可能」

2011/8/3　　　日経新聞　Web 刊 より

日本航空が３日発表した 2011 年４～６月期連結決算は営業利益が 171 億円だった。東日本大震災で航空需要が落ち込む中、リストラの効 果で黒字を確保した。稲盛和夫会長は 12 年３月期の営業利益目標（757 億円）について「上回ることは十分可能」と強調。12 年度の再上場に向け、再建が 予定通り進んでいるとの認識を示した。

黒字確保の要因はリストラによる経費節減だ。不採算路線の撤退や減便で座席の供給量は前年同期より約 28%減。グループで約１万 6000 人に上る人員削減に加え、「ジャンボ」など大型機を手放したことで航空機を効率よく使えるようになったことも大きい。

大西賢社長は会見で「客単価の高い顧客を確保するため、座席の安売りを避けた。客単価は前年同期比で国際線で 28%、国内線で 13%改善している」と述べ、営業面でも実績が上がったという。

日航は会社更生手続き中だった 10 年４～６月期の決算を公表していないが、営業利益は約 180 億円だったとみられる。数字だけを比較すると減益となるが、大西社長は「震災の直後でありながら、好況期であった前年同期並みの数字が出せた」と評価している。

売上高は前年同期より約 1000 億円少ない 2549 億円だった。

ライバルの全日本空輸の４～６月期連結決算は売上高が前年同期比１%減の 3050 億円、営業損益が 81 億円の赤字（前年同期は 29 億円の黒字）で明暗が分かれた。昨秋の羽田空港の国際化に合わせて路線を増強したため、国内線で震災の影響がより大きかった。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

＜日航＞１７１億円黒字…４～６月期　リストラや効率化奏功

毎日新聞 8 月 3 日(水)21 時 34 分配信より

日本航空が３日発表した１１年４～６月期連結決算は、東日本大震災で旅客需要が低迷したものの、不採算路線の徹底的な整理や人件費・運航費用の削減な ど、会社更生手続き入りした昨年から実行してきたリストラ策や業務の効率化が奏功し、営業損益は１７１億円の黒字となった。

売上高は２５４９億円で、概算値で公表した前年同期の３５００億円からは９５１億円の大幅減収となったが、営業損益（前年同期約１８０億円）は、横ばいに近い水準を確保した。

月次では、震災の影響で４月こそ営業赤字だったが、５～６月は黒字を確保。需要の落ちた路線の減便や休止を迅速に行う一方、被災地に臨時便を多数飛ばす など、きめ細かな対応を取ったことが収益改善に貢献した。先に同４～６月期連結決算を発表した全日本空輸は８１億円の営業赤字で、明暗が分かれた。

日航の売上高の主な内訳は、国際線７８８億円、国内線１００４億円。部門別の損益は非公表だが、いずれも黒字だったという。

日航が更生計画で掲げた１２年３月期の営業黒字目標額は７５７億円。４～６月期の実績に基づく年間の収益見通しを３日は公表しなかったが、同日会見した稲盛和夫会長は「今の状況なら何とか上回ると思うし、上回るよう努力したい」と話した。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

日航、営業利益171億円

4～6月期

朝日 8/4

日本航空が3日発表した2011年4～6月期の連結決算は、売上高が2549億円、営業利益が171億円、純利益は127億円だった。会社更生手続き中だった前年同期との単純な比較はできないが、使用機材の小型化や利用者の単価が上がったことで、前年並みの利益水準を確保した。

4～6月の国際線の旅客数は震災の影響が大きく、前年より42・3%減の136万2378人だった。搭乗率も11㌽減の61・1%。国内線も旅客数、搭乗率ともに前年水準を下回った。

しかし、座席の安売りをやめたことなどが寄与して客単価が国際線で28%、国内線で13%改善した。人件費などのコスト削減に加え、円高で燃料調達費も減ったことで利益率が大幅に改善。前年同期の営業利益（180億円）に近い利益となった。12年3月期は、営業利益757億円の目標を掲げている。